

各位

2015年9月16日
公益財団法人 SBI 子ども希望財団

「子育て支援フォーラム in 香川
～ 子育ての応援とゼロ歳児からの子ども虐待防止を目指して～」
開催のお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：田淵 義久、以下「当財団」）は、公益社団法人日本医師会、一般社団法人香川県医師会及び香川県医療推進協議会と共同で「子育て支援フォーラム in 香川～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

「子育て支援フォーラム in 香川」開催概要

日時： 平成 27 年 10 月 31 日（土） 13：00～16：00

場所： JR ホテルクレメント高松
香川県高松市浜ノ町 1 - 1

参加費： 無料（先着 300 名）

プログラム概要：

- 基調講演 ： 「わが国の小児保健・医療の課題と健やか親子 21 の果たす役割」
座長：今村 定臣（日本医師会常任理事）
講師：五十嵐 隆（国立成育医療研究センター理事長）
- シンポジウム ： 1. 「医療現場でできる虐待予防～虐待対応から見えてくるもの～」
木下 あゆみ（四国こどもとおとなの医療センター育児支援対策室長・小児科医）
2. 「妊娠中からの子育て支援：産婦人科にできること」
山本 順子（香川県産婦人科医会理事・医療法人社団真弘会谷病院）
3. 「取り組もう！医療・保健・福祉による効果的な虐待予防：妊娠期からの切れ目のない支援を目指して」
井上 登生（井上小児科医院院長・福岡大学臨床教授・日本小児精神神経学会代議員）
4. 「今日の子ども家庭と社会的養護の現状・課題」
加賀美 尤祥（社会福祉法人山梨立正光生園理事長／山梨県立大学人間福祉学部特任教授）

詳しいプログラム、ご参加申込方法等は、別添資料もしくは下記よりご覧ください。

【子育て支援フォーラム in 香川 ～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～】

<http://www.med.or.jp/people/info/seminar/003783.html>

本フォーラムでは、増え続ける児童虐待について「社会全体としてどう取り組んでいけばよいか」というテーマを掲げており、児童虐待の現状をご理解いただくと共に、次世代の健全な育成を目指すという観点からも広く一般の方にもご参加いただきたいと考え、平成 23 年より毎年全国各地で開催し、多くの方にご参加いただいております。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、子どもたちの入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子ども達の福祉向上を目的に 2005 年 10 月に、SBI グループの社会貢献活動として設立され、2010 年 3 月に公益財団法人へ移行しました。児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ：<http://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

子育て支援フォーラム、SBI 子ども希望財団の活動について：

公益財団法人 SBI 子ども希望財団 03-6229-1003

子育て支援フォーラム in 香川

子育ての応援と ゼロ歳児からの 虐待防止を目指して

ひとりじゃないよ。



児童虐待は依然として増加傾向が続き、大きな社会問題となっております。特に死亡児の低年齢化、中でもゼロ歳児に集中していることが明らかになり、虐待による子どもの死亡を予防するためには従来の早期発見・早期対応に加え、その発生を予防する取り組みが必要です。

次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としてフォーラムを開催します。



イラスト 佐々木理沙 2015年度 オレンジリボン運動 公式ポスターコンテスト SBI子ども希望財団賞受賞作品

参加費無料
先着300名

平成27年
日時 10月31日(土)
13:00-16:00

場
所

JRホテルクレメント高松

※事前のお申し込みで託児施設(定員10名)が
ご利用いただけます。

【託児申込締切: 10月16日(金)まで】

主
催

公益社団法人日本医師会
公益財団法人 SBI 子ども希望財団
一般社団法人香川県医師会
香川県医療推進協議会

後
援

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本小児科医会、香川県、高松市、四国新聞社、香川県産婦人科医会、香川県小児科医会、香川県教育委員会、香川県学校保健会、香川県養護教諭協会、香川県栄養士会、香川県介護福祉士会、香川県看護協会、香川県作業療法士会、香川県歯科医師会、香川県歯科衛生士会、香川県助産師会、香川県鍼灸師会、香川県鍼灸マッサージ師会、香川県診療放射線技師会、香川県接骨師会、香川県薬剤師会、香川県理学療法士会、香川県臨床検査技師会、全国児童養護施設協議会、全国母子生活支援施設協議会、全国乳児福祉協議会 (順不同)

参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、郵便または FAX にてお申し込みください。

子育て支援フォーラム in 香川 子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

日時:平成27年10月31日(土)
13:00~16:00

場所:JRホテルクレメント高松 3階「玉藻」
〒760-0011 香川県高松市浜ノ町1-1
TEL:087-811-1111

- ◆JR高松駅より徒歩1分
- ◆ことでん高松築港駅より徒歩1分



プログラム

司会: 松本美千代 (香川県医師会常任理事)

- 開 会 13:00
- 挨拶 13:00~13:10
横倉 義武(日本医師会会長)、久米川 啓(香川県医師会会長)
- 基調講演 13:10~13:50
座長: 今村 定臣(日本医師会常任理事)
講師: 五十嵐 隆(国立成育医療研究センター理事長)
「わが国の小児保健・医療の課題と健やか親子21の果たす役割」
- シンポジウム 13:55~15:35
座長: 樋口 和彦(香川県医師会常任理事)
コメンテーター: 藤澤 卓爾(香川県医師会副会長)
(1)木下 あゆみ(四国こどもとどとの医療センター育児支援対策室長・小児科医)
「医療現場でできる虐待予防~虐待対応から見えてくるもの~」
(2)山本 順子(香川県産婦人科医会理事・医療法人社団真弘会谷病院)
「妊娠中からの子育て支援:産婦人科にできること」
(3)井上 登生(井上小児科医院院長・福岡大学臨床教授・日本小児精神神経学会代議員)
「取り組もう!医療・保健・福祉による効果的な虐待予防:妊娠からの切れ目のない支援を目指して」
(4)加賀美 尤祥(社会福祉法人山梨立正光生園理事長・山梨県立大学人間福祉学部特任教授)
「今日の子ども家庭と社会的養護の現状・課題」
- 討議 15:35~15:55
- 閉 会 15:55~16:00
田淵 義久(SBI子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、郵便または FAX にてお申し込みください。

➔ はがき・Eメールによる
申込みも受け付けております。

はがき・Eメールには必ず 1.郵便番号 2.住所 3.氏名
4.電話・FAX 番号を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切:平成27年10月23日(金)必着

- ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ※参加確定者の発表は参加票の発送をもって代えさせていただきます。(10月中旬頃)
- ※フォーラム当日は、参加票を忘れずにお持ちください。

郵 送 〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16
日本医師会地域医療第3課 子育て支援係行

FAX 03-3946-2684

E-mail gyakutai@po.med.or.jp

HP http://www.med.or.jp

お問い合わせ / 03-3942-8181 (日本医師会地域医療第3課)

参加申込書

子育て支援フォーラム in 香川
子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して [平成27年10月31日(土)開催]

住所	〒	-			託児施設のご利用	有・無
氏名		電話番号	-	-	託児人数	/ 託児年齢
		FAX	-	-	男児	人 / 才
					女児	人 / 才
住所	〒	-			託児施設のご利用	有・無
氏名		電話番号	-	-	託児人数	/ 託児年齢
		FAX	-	-	男児	人 / 才
					女児	人 / 才

※ボールペンでご記入ください。 ※参加希望者の個人情報、第三者に提供することはありません。

※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓ FAX 送信 03-3946-2684 ↓